

1 単元名 現代の民主政治と社会
「地方の政治と自治 ～地方自治とは～」 (全6時間)

2 単元のねらい
市町村の現状問題について探究する活動を通して、地方公共団体の政治のしくみや働きについて理解するとともに、それら地方公共団体の政治のしくみは、自治という考え方を基礎として成り立っていることを捉えることができる。

3 単元で培いたい学び方
地方政治の現状についての自らの思いを適切に表現するとともに、地方政治は住民自治のもとで成り立ち、今後も住民自治を大切に考えていこうとする態度を育む学び方。

4 内容のまとめりごとの評価規準 公民的分野の内容(3)イ「民主政治と政治参加」

ア 社会的事象への関心・意欲・態度	イ 社会的な思考・判断	ウ 資料活用の技能・表現	エ 社会的事象についての知識・理解
国や地方公共団体の政治に対する関心を高め、それを意欲的に追究し、民主的な政治について考えようとしている。	国や地方公共団体の政治に関して、議院制民主主義や選挙の意義について多面的・多角的に考察し、民主的な政治の在り方について様々な考え方や立場から公正に判断している。	国や地方公共団体の政治に関する様々な資料を収集し、学習に役立つ情報を適切に選択して活用するとともに、追究し考察した過程や結果をまとめたり、説明したりしている。	地方自治の基本的な考え方、地方公共団体の政治の仕組み、国会を中心とする我が国の民主政治の仕組みのあらまし、政党の役割、多数決の原理とその運用の在り方、法に基づく公正な裁判の保障について理解するとともに、公正な世論の形成と国民の政治参加の大切さに気づき、その知識を身に付ける。

5 単元の評価規準

	ア 社会的事象への関心・意欲・態度	イ 社会的な思考・判断	ウ 資料活用の技能・表現	エ 社会的事象についての知識・理解
単元の評価規準	<ul style="list-style-type: none"> 資料から、市町村の現状問題について捉え、それに関する自らの意見を持ち、今後の学習の方向を示そうとしている。 自治という考え方を追究しながら、民主的な政治と政治参加の方法について、考えようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 地方自治を進めるためには、権利を行使することと同時に、自分たちの地域を自分たちの手で治めていこうとする住民自治の意識の必要性を考えている。 民主的な政治を成り立たせていくには、住民自治という考え方が必要であることを判断している。 	<ul style="list-style-type: none"> 市町村の現状問題についての資料を、様々な情報手段を活用して収集し、整理している。 地方自治の実現のために認められている直接請求権や住民投票について、様々な情報手段を活用して調べ、その内容を説明している。 	<ul style="list-style-type: none"> 地方公共団体の政治のしくみや働きについて、住民との関わりを捉えながら理解し、その知識を身につけている。 地方自治は、住民参加による住民自治が基本であることを理解し、その知識を身につけている。
学習活動における具体的な評価基準	<p>資料から、市町村の現状問題について捉え、それに関する自らの意見や考えを、意欲的に持とうとしている。</p> <p>自分たちが今後、どのように地方政治に参加すべきであるのかを、レポートにまとめている。</p>	<p>地方自治を進めるためには、認められている権利を行使すること、住民自治の意識を持つことの両面が必要であることを、ワークシートにまとめている。</p>	<p>市町村の現状問題について、市の広報誌やインターネットを活用しながら調査し、自らの考えを構築している。</p> <p>直接請求権や住民投票などについて、市の広報誌やインターネットを活用しながら調査し、地方自治の実現のために認められている住民の権利であることを捉えている。</p>	<p>地方公共団体の政治のしくみや働きについて、住民との関わりを意識しながら、ワークシートにまとめている。</p> <p>住民参加の住民自治が、地方自治の基本であることを、具体的な事例を示しながら説明している。</p>

時	ねらい	学習活動	評価規準	評価方法	資料および指導・援助
1 & 2 高まる市町村合併	新聞記事や広報誌などから、市町村の現状問題を捉え、その問題の持つ背景を調べる活動を通して、国に頼らない地方の政治の必要性を捉えることができる。	<p>1 市町村の現状問題を捉える。 ・下水道の問題 ・高齢化の問題 ・ゴミ問題 ・観光地の問題 ・犯罪問題 ・市町村合併問題 など 市町村の切実な課題を選び、学習を焦点化する。</p> <p>どうして市町村合併の動きが起こっているのか？（中津川市ならこの課題）</p> <p>2 各グループごとに、資料別に調査する人を振り分け、課題追究を進める。</p> <p>3 資料からつかんだことを発表する。（グループ全体） ・国に頼っている財源を見直すため。 ・財政難の状況を改善させるため。 ・地方分権を進めるため など</p> <p>4 地方財政の面にしぼって、市町村合併の高まりの理由を考える。 ・自主財源を増やすため。 ・地方交付税交付金や国庫支出金をあてにできないため。 ・効率化を図り、地方の借金を減らすため。 ・地方自治を高めるため。</p> <p>< 単元を貫く課題 ></p> <p>『地方自治の進んだ地方政治を確立するために、大切なことは何だろう』</p> <p>5 本時のまとめをする。</p>	<p>ア - 資料から、市町村の現状問題について捉え、それに関する自らの意見や考えを、意欲的に持とうとしている。</p> <p>ウ - 市町村の現状問題について、市の広報誌やインターネットを活用しながら調査し、自らの考えを構築している。</p>	<p>自己評価と他者評価ははっきりした意見や考えを持つことができたかを、自己評価表、他者評価表で分析する。</p> <p>自己評価と他者評価それぞれの資料をどう読みとり、どんな考えをもったか、また仲間の意見と絡めた考えを持つことができたかを、自己評価表、他者評価表で分析する。</p>	<p>「市町村についての新聞記事」 「市町村広報誌」</p> <p>・市町村合併について、3つの資料を用意し、課題追究を進めさせる。 「総理府のホームページ」 「市町村広報誌」 「役場の人の声」（ビデオ資料）</p> <p>・市町村合併における理由はたくさんあると思われるが“国に頼らない”というキーワードが浮き彫りとなる資料を用意する。 「地方の歳入」 「地方交付税交付金と国庫支出金の説明」</p> <p>・市町村の問題を財政面からまず考え、問題の背景を焦点化する。 ・地方財政については細かい所に深入りしないように配慮する。 ・地方自治の意味を具体例を示しながら捉えさせる。</p>
<p>市町村の現状問題の背景には、地方の政治が国に頼りすぎてきたことがあげられるな。これからは自分たちで地域を治めていくという地方自治の考え方が重要だ。地方自治について、さらに現状や今後の課題を探っていこう。</p>					
3 地方公共団体の仕事と地方自治	地方議会と首長の役割について捉え、住民との関わりを考える活動を通して、地方自治体の働きと、地方自治のしくみを把握することができる。	<p>1 地方公共団体の仕事を整理する。 2 地方議会と首長の役割について考える。 ・執行機関と議決機関がある。 ・長野県では、両機関がうまくかみ合っていないかったんだな。</p> <p>地方自治として、住民はどんなことができるのだろう。</p> <p>3 執行機関と議決機関の両方に、直接選挙という形で住民は意思を伝えられることを捉える。</p> <p>4 本時のまとめをする。</p>	<p>エ - 地方公共団体の政治のしくみや働きについて、住民との関わりを意識しながら、ワークシートにまとめている。</p>	<p>ワークシート記述 執行機関と議決機関の両者に、住民が関わっていることを、図で示しながら、説明できているかをワークシートから分析する。</p>	<p>「市町村広報誌 ~ 地方公共団体の仕事 ~」 「地方議会と首長の関係図」 「長野県の地方議会の一連記事」</p> <p>・執行機関や議決機関の内容に深入りしないように配慮する。 ・住民がどのように関わっているのかを板書で構造的にまとめ、整理する。</p>
<p>地方公共団体のしくみは、やはり地方自治という考えが基本となって成り立っている。首長や地方議会にも、直接選挙という形で、住民は意思を伝えることができるんだな。改めて選挙の重要性を感じるな。選挙以外にも、地方自治の実現のために、住民ができることって認められているのだろうか。</p>					

時	ねらい	学習活動	評価規準	評価方法	資料及び指導・援助
4	地方自治の実現に向けて 直接請求権や住民投票の具体例を探求する活動を通して、地方自治の実現のために、住民に認められている権利について把握することができる。	<p>1 近ごろ制定された条例を知り、条例について考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ゴミポイ捨て条例と暴走族撲滅条例が制定。 ・福祉に関する条例が増えると良いのでは…。 <p>条例制定など住民の意見は地方政治に届くのだろうか。</p> <p>2 直接請求権と住民投票の具体例を資料から読みとる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・直接請求権、住民投票が認められている。 ・直接請求権や住民投票は、地方自治実現のために、住民に認められた権利である。 <p>3 オンブズマン制度の意義を考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・住民の声に答える行政をめざしている。 <p>4 本時のまとめをする。</p>	ウー 直接請求権や住民投票などについて、市の広報誌やインターネットを活用しながら調査し、地方自治の実現のために認められている住民の権利であることを捉えている。	自己評価と他者評価資料をどう読みとり、どんな考えをもつことができたかを、自己評価表、他者評価表で分析する	<p>「市町村広報誌」～条例の制定～</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ユニーク条例を紹介し、意欲をかき立てる。 <p>「直接請求権の内容を示す図」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・“住民の意見が届いた例”として資料で具体例を挙げ課題追究を円滑にする。 ・資料の読みとりをグループで交流し他者評価できる場面をつくる。
地方自治の実現をめざして、直接請求権など住民に認められている権利が存在するんだな。認められている権利を行使するためには、地方の政治により関心を持っていなくてははいけないぞ。					
5	地方自治の発展と住民自治 住民投票にこだわる自治体の姿勢を考える活動を通して、地方自治発展には、認められている権利を行使することと、住民自治の意識を持つことの両面が必要であることに気づくことができる。	<p>1 御嵩町の住民投票について調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県の産業廃棄物処理施設設置への反対運動。 ・住民投票に法的拘束力はない。 <p>法的な拘束力がないのに、住民投票をおこなう意味があるのだろうか。</p> <p>2 住民投票の意義を考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・住民の意思を県に示すことができた。 ・住民の意思が県の政治の方向を変換した。 <p>3 住民自治の必要性を知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・住民一人ひとりが、自分たちの地域を自分たちでつくろうとする自治意識を持たなくてははいけない。 <p>4 本時のまとめをする。</p>	イー 地方自治を進めるためには、権利を行使することと、住民自治の意識を持つことが必要であることを、ワークシートにまとめている。	ワークシート記述 地方自治を進めるためにはという書き下し文を、権利の行使と意識の向上という両面を含ませながら書いているかをワークシートから分析する。	<p>「御嵩町の住民投票までの流れ」</p> <p>「住民投票の実現」（新聞資料）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・立場をはっきりさせた自らの考えを持たせ、課題追究に取り組みさせる。 「投票結果と御嵩町の人々の声」 「柳川町長の言葉」 「住民投票後の動き」 <ul style="list-style-type: none"> ・住民自治という言葉を生徒の意見から位置づけ、強調する。
地方自治をより進めるためには、直接請求権などの認められている権利を行使することと同時に、御嵩町の住民がおこなったように、自分たちの地域は自分たちでつくるといふ住民自治の意識を持つことが必要であるんだな。					
6	住民自治を進める政治参加の在り方 身近な地域に広がるNPOの活動を考える活動を通して、地域を自らが築く住民自治の考え方を捉え、自らの可能性の存在を知ることができる。	<p>住民自治を進める活動にはどんなものがあるだろうか。</p> <p>1 身近な地域のNPOの高まりを知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・福祉面や環境面でのボランティア活動が増えている。 <p>2 NPOの方々の考えを探る</p> <ul style="list-style-type: none"> ・住民自治の意識を持つことが大切。 ・頼るのではなく、まず自ら動くことが大切。 <p>3 地方政治の参加というテーマで、学習レポートを書く。</p> <p>4 本単元のまとめをする。</p>	エー 住民参加の住民自治が、地方自治の基本であることを、具体的な事例を示しながら説明している。	自己評価と学習レポート 地方自治を進めるためには住民自治が必要であることをおさえながら、今後の地方自治の在り方や、地方政治への参加の仕方についてレポートに述べられているかどうかを分析する。	<p>「市町村広報誌」～NPOの活躍～</p> <p>「NPOの活躍の新聞記事」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・NPOの方々の気持ちを予想させながら、住民自治の考えを引き出させる。 <p>「NPOの方の声」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実際の考えを聞き住民自治の必要性を確認させる。
地方自治の進んだ地方政治を確立するために、地方公共団体に希望することもある。しかし、私たちがすべきこともある。住民自治の考えを持ち、自らが地方政治に参加する道を考えていくことがこれからの時代は大切なんだ。					